

令和7年度 後継者育成事業 若手従事者研修会 実施概要

産地支援部

1. 目 的

伝統的工芸品の新規就業者を含む若手従事者に対し、他産地の技術・技法を学ぶ機会を設ける。業界に対する広い視野と次世代の産地を支えていく上で必要な知見を獲得し、産地間連携のための土台を築きつつ、未来の産地をけん引する人材を育成することを目指す。

2. 実施内容

日 程 年3回

(8～10月に1回、10～12月に1回、12～2月に1回)

内 容

- ・ 伝統的工芸品産地の後継者育成施設や、文化財修復施設等の伝統的工芸品の技術技法が関わる場所でのフィールドワーク
- ・ 伝統的工芸品の業界に携わるゲスト講師による講義
- ・ 若手従事者同士の交流会
- ・ 上記関係施設の技術者による実演講義

会 場

- ・ 産地の後継者育成施設
- ・ 産地以外で伝統的工芸品の技術技法が関わる施設 など

(今後調整予定)

講 師

①訪問先の講師や自立していく上で必要な知識を与えられる講師

②受講者の親方よりも若い伝統工芸士＝ある程度身近な目標となる職人

※全実施回のうち、分業によって製造する産地と、一人で完成させる産地から最低1名ずつ依頼する。なお、実施会場が分業の産地だった場合は、分業の産地の作り手に依頼する。

参加者

各回20人(予定)

※ 従事歴12年未満

(当該年度の4/1現在＝伝統工芸士の受験資格のない者)

※ 特定の業種に限定せず、業種横断で参加可能とし、広く伝産業界を支える人材同士が連携できる関係を作ることを目指す

(募集の時点で分業・非分業による区分けは行わない)。

※ 実施回ごとに募集する。

3. 経 費

講 師：講習会謝金 (30,000円／人・日)
往復交通費(実費)、宿泊費(11,800円／人・日を上限として実費)
参加者：往復交通費(組合最寄りを起点として実費)
宿泊費(11,800円／人・日を上限として実費)

その他会場費等諸経費

4. スケジュール(予定)

6～7月	事務局委託先公募・選定 各回の実施先・講師検討
7～8月	第1回会場調整・講師委嘱・参加者募集
9月	第1回実施
9～11月	第1回実施分精算
	第2回会場調整・講師委嘱・参加者募集
12月	第2回実施
12～1月	第2回実施分精算
	第3回会場調整・講師委嘱・参加者募集
2月	第3回実施
2～3月	第3回実施分精算 報告書作成・事業精算